

農地は私たちの命

「国策裁判」が「原発安全神話」を許した

「国策」と闘い 47 年
三里塚は今、決戦の時

農地取り上げを許さない 裁判所包囲行動

- 日時 2月18日(月) ■場所 千葉市中央公園
■行動 10:00～集会
10:30～デモ行進
12:10～裁判所包囲、人間の鎖
13:30～裁判傍聴
<傍聴以外の方は 14:30～デモ(中央公園～)リレートーク(裁判所前)など>



「命より国益」とばかりに、オスプレイ配備、原発再稼働を推し進める安倍政権。こうした「国策」と体を張って闘い続ける成田では今、追いつめられた政府と空港会社による暴力的な農地取り上げとの闘いを迎えています。農地取り上げはTPPの先取りです。住民の命と生活を犠牲にする「国策」に対してみんなの怒りをひとつに！声を力に！

2月18日私たちは、農民の未来とすべての人びとの生きる権利をかけて、「国策裁判」を許さないために立ち上がります。皆さんの力が必要です。ぜひ集まってください。

3月24日全国総決起集会

正午 反対同盟員所有畑

「国策」への怒りをひとつに！

怒りを込めて
証言に立ちます



農民にとって農地は自分の命と一緒なんですよ。それを取られるということは、農民として「死ぬ」ということです。絶対に負けるわけにはいけません。1000年近く親たちが耕して肥沃な土になった土地をデタラメきわまりないやり方で取られるなんて我慢できません。どうしても最後まで闘うしかありません。

(市東孝雄さん)

市東さんの農地取り上げ問題とは？

原発・基地・TPPとの闘いとともに



左のAとBが取り上げ対象とされた畑。誘導路は農家の声を踏みにじって強行したため、畑のところで滑走路側に「へ」の字に曲がっている。これで「安全」「支障なし」としていたが、いまになって、畑を取り上げる裁判を起こしている。人の命と権利を踏みにじるこのやり方が原発と同じ「国策・公共事業」の姿です！

空港会社の違法・不当と闘う

千葉県成田市の農家・市東孝雄（しとうたかお）さんは、成田空港会社（NAA）から親子三代100年にわたり耕し続ける畑の明け渡しを求められ、違法・不当な農地取り上げの裁判を闘っています。

NAAは農民を守るべき農地法をねじ曲げ、強制的に農地を取り上げようとしています。対象は農地だけでなく、作業場やビニールハウス、農機具置き場など営農に係わるすべて！

違法な土地買収や証拠の偽造などNAAの数々の不正を千葉地裁は黙認し、「初めに空港ありき」の片寄った進行で3月に結審～判決を下そうとしています。上級審を待たない「仮執行宣言」つきの不当判決なら、42年ぶりの強制的な農地取り上げとの攻防になります。

福島・沖縄に通じるもの

千葉地裁がこのような姿勢を取るのには成田空港建設が「国策」だからです。しかし3・11の原発事故は、「公共」なるものがいかにウソで、住民を犠牲にした一部の利益のためでしかないことを示しました。「国策」として進められる原発や沖縄のオスプレイ・基地——これに反対する声と私たちの闘いはひとつです。

みんなの力で

市東さんの農地取り上げは、TPP（環太平洋経済連携協定）に見られる農業つぶしの先がけ。市東さんだけではなく、日本の農業・農民の問題です。

安倍政権の「経済再生最優先」は「命よりカネ」に他なりません。国と真っ向から闘い農地取り上げを阻むことは、「カネよりも命」の私たちの声と力を示す道です。



中央が市東孝雄さん。週に2回、仲間とともに出荷作業。東京・千葉を中心に、直接消費者に有機・無農薬の野菜を届けている

詳しいパンフレットあります!! 頒価100円